

KIFUCOFFEE JOURNAL

No.01

寄付アクションのその先

May 2025

ロジャーとの挑戦 —災害救助犬への道—

ハンドラー大西さんへインタビュー



KIFU COFFEEを通して、寄付アクションにご参加いただきましてありがとうございます。
KIFUCOFFEEの寄付額だけでなく、寄付のその先と一緒に知り、共有できる機会があればと思います、2025年はJOURNALという形でお届けします。
ぜひコーヒーを飲みながら読んでいただけたら嬉しです。今月は「災害救助犬ロジャーへの寄付」のその先をお届けします。

ロジャーとの出会い

2023年4月25日ロジャーは広島県上石高原にやってきました。ベルギー生まれ、韓国育ち。愛称は「ろっちゃん」。元々は、韓国でシープドッグとして働いていました。

—ろっちゃんの第一印象は？—

はじめて会った時は、全身ムキムキのマッコ犬でした。それはシープドッグとして牧場を走り回っていたからですね。普段はクネクネ、デレデレの甘えん坊ですが、真面目で努力家です。

災害救助犬として

—今何を指して、どのような訓練をしていますか？—

万が一の地震などの災害時に、倒壊した建物に閉じ込められてしまった人を探し、救出するために訓練しています。昨年の11月に日本ではじめて開催された、IRO(International Rescue dog Organization)国際救助犬連盟主催の国内MRT(Mission Readiness Test)実働想定試験をロジャーと受験しました。残念ながら合格には届きませんでしたが、手ごたえのある結果でした。来年また開催されますので合格に向けて訓練しています！

—ロジャーとの訓練で印象的なこと教えてください—

救助犬は要救助者を見つけた時に、高らかに吠えて知らせる必要があるのですが。ロジャーは吠えない犬だったので(笑)。

普段の生活では、ほとんど吠えません。

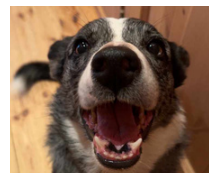
2023年4月から一緒に暮らし始めて、8月になるまでロジャーの声を聞くことがありませんでした。吠えることを促す練習をしましたが、なかなか吠えませんでした。

ある日、雷が鳴りはじめた時に聞き覚えのない吠え声が聞こえました。

見に行くと、ロジャーが窓の外に向かって吠えていました。

「それだ！」と思い、【雷が鳴る→ロジャーが吠える→おやつを投げる！】を雷が鳴るたびに繰り返しました。すると、だんだん吠える練習でも声が始まりました。

今でも、試験などで緊張すると吠えないのですが、実働では吠えていたり、訓練ではよく吠えているのでヨシとしています(笑)。





ー災害救助の現場では、何が一番大切ですか？ー

救助犬とハンドラーの安全確保です。救助支援に行っている私たちが、二次災害を起こすわけにはいきません。また、ケガや命を落とすことがあってはいけません。活動には十分に安全確認と確保を行っています。

ーハンドラーさんとロジャーが目指す未来を教えてくださいー

国内MRTの先には、国際MRTがあります。世界の救助犬たちと試験にチャレンジしたいと思います！

／おしえて！／

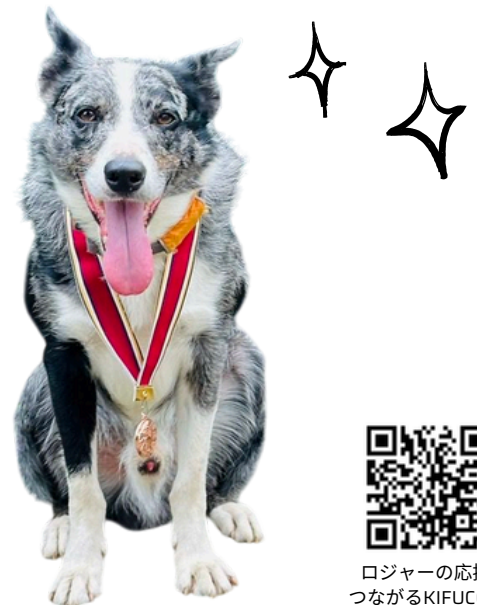
寄付のその先

How your donation
will be used

日常的に訓練に使う瓦礫サイトの整備や訓練道具の購入をしています。

また、ロジャーの医療費やロジャーの大好きなレバーソーセージやラム肉を購入し、訓練時のご褒美としてあげ、ロジャーのモチベーションを高めています。

【ご報告】インスタフォロワー数+いいね数のICHIWARI寄付
4月は計650アクション=65円がロジャーへの寄付につながりました。ありがとうございます！



ロジャーの応援につながるKIFUCOFFE

Question

キフクリエイトのLINEでハンドラー
大西さんへの質問を募集しました

Q：信頼関係を作る上で心掛けていること、大切にしていることは？

A：良いこと、良くないことをはっきり伝えるように心がけています。曖昧な表現は犬には伝わりにくいです。良いことには、思いっきり喜びながら褒めて、良くないことには単的に素早くNOと伝えます。

Q：普段はハンドラーさんと一緒に住んでいるんですか？

A：はい、我が家にはロジャーを含めて6頭の犬たちがいます。救助犬は、ゼルダ・ロジャー・アシュティーJr.の3頭がいます。

Q：災害救助犬は靴を履いてお仕事をすることはできるのですか？足裏が切れないか心配です。

犬にとって靴を履くことのメリット・デメリットがあります。現場で、メリット・デメリットを考えて靴を使うことを考えます。いつも携帯はしています。

◇メリット／足の保護になる
◇デメリット／爪での踏ん張りがきかなくなるので、滑りやすくなり危険。
犬の汗腺は足裏にあるので体温調節ができなくなる。
足裏の感覚でバランスをとっています。

寄付先 団体紹介

空飛ぶ捜索医療団 ARROWS

大規模災害の被災地にいち早く駆けつけ、救助・救命活動を行う、医療を軸とした災害緊急支援プロジェクトです。

航空機やヘリコプター、船などの輸送手段を活かし、医師や看護師、レスキュー隊員、災害救助犬などの救助チームが被災地に赴きます。

東日本大震災以降、ほぼ全ての国内大災害に出動し、多くの被災者の方々に支援してまいります。

■団体への直接寄付はこちら
URL：<https://arrows.peace-winds.org/>



寄付は応援や共感のひとつの形。キフクリエイトが行うプロジェクトは1割が寄付につながります。